

広島県経済財政会議（テーマ別懇談会） 議事要旨

- 開催日時：平成26年7月17日（木） 15：40～17：00
- 開催場所：広島県庁北館2階 第2会議室
- 出席者：（主宰）湯崎 英彦 広島県知事
（委員）三浦 浩之 広島修道大学人間環境学部長・教授 ※敬称略
- 議事要旨（委員の主な意見等）
懇談テーマ 「人口減少社会における持続可能な地域づくり」について
～創造的なまち、大切な人と思いを重ねられるまち～

懇談会の冒頭、三浦委員より、懇談テーマに関する提案をいただいた後、出席者間で意見交換を行った。

委員提案の概要

若者に選ばれる広島都市圏となるためには、新たな領域の職業・働き方が提供できることや、自分たちで“まち”をつくっていく感覚を共有できることなど、創造性がキーワードとなる。

また、地域への愛着は出来事の積み重ねによる思い出により醸成されることから、「創造的なまち、大切な人と思いを重ねられるまち」とする戦略が必要である。

意見交換での主な意見

- 福岡では「イノベーションスタジオ福岡」という多様な主体が参画する場が設置されている。広島でも、若い人がさまざまな取組を行っているが、県が場所の提供等で支援してはどうか。
- 若い人たちは、そもそも小中高校と育ってくる過程で、集まって何かをするという経験が少ないのではないか。若者が集まれる場を、本人たちの意見をうまく引き出して作ってあげれば良い。
- ポートランド（米）では、普段の生活の中で自然を感じながら都市的生活ができる。広島都市圏は、すぐ近くに山や海があるが気軽にアクセスできる場所が少ない。もっと接する機会を増やさないといけない。
- 県内にも、クリエイティブ・シンカーが活躍できる場として、袋町公園のトランクマーケットなどがある。これらの活動に参加している意識の高い人と若者がつながるためのサポートなどは、行政として支援できるのではないか。
- 都市機能に加えて周辺に自然があるのは他都市も同じだが、それらと差別化できるのは海外とのつながりではないか。単なる観光ではなく1か月くらい滞在し、研究活動等を通じて地域と交流できるという点で広島の独自性を出すことができる。